

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-212151 (P2019-212151A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2018-109288 (P2018-109288)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/038 (2013.01)

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/038 3 1 0 A

G 0 6 F 3/0484 1 2 0

G 0 6 F 3/023 4 6 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの視線を特定する視線特定部と、

前記ユーザが前記ユーザの頭部に固定された表示部中の基準位置を見ている際に前記視線特定部が特定した前記視線を、基準視線として記憶部に記憶させる基準設定部と、

入力可能な複数の入力要素を表す全体の領域のうち一部の領域を前記表示部に表示させるとともに、前記基準視線と前記視線特定部が特定した前記視線との間の関係に基づいて、前記全体の領域の中で前記一部の領域を変更する表示制御部と、

前記一部の領域内の前記基準位置を含む所定領域に位置する入力要素の入力を受け付ける入力受付部と、

を有し、

前記表示制御部は、前記基準視線から前記視線特定部が特定した前記視線への向きに、前記全体の領域の中で前記一部の領域を移動させる、

視線入力装置。

【請求項 2】

前記表示制御部は、前記基準視線と前記視線特定部が特定した前記視線との間の差に基づいて、前記一部の領域の移動の速さを変化させる、請求項 1 に記載の視線入力装置。

【請求項 3】

前記表示制御部は、前記基準視線と前記視線特定部が特定した前記視線との間の差が所定値以下である場合に、前記一部の領域の移動を停止させる、請求項 1 又は 2 に記載の視線入力装置。

【請求項 4】

前記入力受付部は、前記所定領域に所定時間以上位置する前記入力要素を、前記ユーザによる入力として受け付ける、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の視線入力装置。

【請求項 5】

前記表示制御部が前記ユーザに対し前記表示部中の所定の 1 点を見つめるように促す情

報を前記表示部に表示させた後に、前記基準設定部は前記基準視線を設定する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の視線入力装置。

【請求項 6】

前記基準設定部は、前記ユーザが操作する操作装置の操作に応じて、前記基準視線を設定する、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の視線入力装置。

【請求項 7】

前記表示制御部は、前記入力受付部が前記ユーザによる入力を受け付ける期間には前記表示部に前記一部の領域を表示させ、前記入力受付部が前記ユーザによる入力を受け付けない期間には前記表示部に前記一部の領域を表示させない、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の視線入力装置。

【請求項 8】

前記表示制御部は、前記入力受付部が前記ユーザによる入力を受け付ける期間には前記表示部が光を透過しない状態に切り替え、前記入力受付部が前記ユーザによる入力を受け付けない期間には前記表示部が光を透過する状態に切り替える、請求項 7 に記載の視線入力装置。

【請求項 9】

プロセッサが、

ユーザの視線を特定するステップと、

前記ユーザが前記ユーザの頭部に固定された表示部中の基準位置を見ている際に前記特定するステップで特定された前記視線を、基準視線として記憶部に記憶させるステップと、

入力可能な複数の入力要素を表す全体の領域のうち一部の領域を前記表示部に表示させるとともに、前記基準視線と前記特定するステップで特定された前記視線との間の関係に基づいて、前記全体の領域の中で前記一部の領域を変更するステップと、

前記一部の領域内の前記基準位置を含む所定領域に位置する入力要素の入力を受け付けるステップと、

を実行し、

前記変更するステップにおいて、前記基準視線から前記特定するステップで特定された前記視線への向きに、前記全体の領域の中で前記一部の領域を移動させる、

視線入力方法。

【請求項 10】

コンピュータに、

ユーザの視線を特定するステップと、

前記ユーザが前記ユーザの頭部に固定された表示部中の基準位置を見ている際に前記特定するステップで特定された前記視線を、基準視線として記憶部に記憶させるステップと、

入力可能な複数の入力要素を表す全体の領域のうち一部の領域を前記表示部に表示させるとともに、前記基準視線と前記特定するステップで特定された前記視線との間の関係に基づいて、前記全体の領域の中で前記一部の領域を変更するステップと、

前記一部の領域内の前記基準位置を含む所定領域に位置する入力要素の入力を受け付けるステップと、

を実行させ、

前記変更するステップにおいて、前記基準視線から前記特定するステップで特定された前記視線への向きに、前記全体の領域の中で前記一部の領域を移動させる、

視線入力プログラム。

【請求項 11】

ユーザの頭部に固定された頭部装着装置と、

前記頭部装着装置との間で信号を授受する視線入力装置と、

を有し、

前記頭部装着装置は、前記ユーザが視認できるように前記ユーザの頭部に固定された表

示部を備え、

前記視線入力装置は、

前記ユーザの視線を特定する視線特定部と、

前記ユーザが前記表示部中の基準位置を見ている際に前記視線特定部が特定した前記視線を、基準視線として記憶部に記憶させる基準設定部と、

入力可能な複数の入力要素を表す全体の領域のうち一部の領域を前記表示部に表示させるとともに、前記基準視線と前記視線特定部が特定した前記視線との間の関係に基づいて、前記全体の領域の中で前記一部の領域を変更する表示制御部と、

前記一部の領域内の前記基準位置を含む所定領域に位置する入力要素の入力を受け付ける入力受付部と、

を備え、

前記表示制御部は、前記基準視線から前記視線特定部が特定した前記視線への向きに、前記全体の領域の中で前記一部の領域を移動させる、

視線入力システム。